

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network 10 / 1

2023 No.574

**JART**情報  
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル22階  
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



## 上田会長と堀住事務局長、 関連団体と会談する!

2023年7月27日(木)から8月7日(月)にかけて、本会上田会長と堀住雄策事務局長が、一般社団法人日本病院薬剤師会 武田泰生会長、公益社団法人全日本病院協会 猪口雄二会長、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 野口百香会長と山崎まどか事務局長、公益社団法人日本歯科技工士会 森野隆会長らとそれぞれ会談しました。日本医療ソーシャルワーカー協会さまは本会事務局にお見えになりましたが、

他の団体にはこちらから訪問させていただきました。会談はいずれも大変活発な意見交換がなされ、本会からは医師の働き方改革に伴うタスク・シフト/シェアから本会の示すJART Vision 2040、養成教育に関する内容まで、広く情報提供を行いました。それぞれの団体が抱えている問題や診療放射線技師に期待されていることがあり、大変有意義な会談となりました。



日本病院薬剤師会 武田泰生会長と本会上田克彦会長 (7月27日(木))



全日本病院協会 猪口雄二会長と本会上田克彦会長 (8月4日(金))



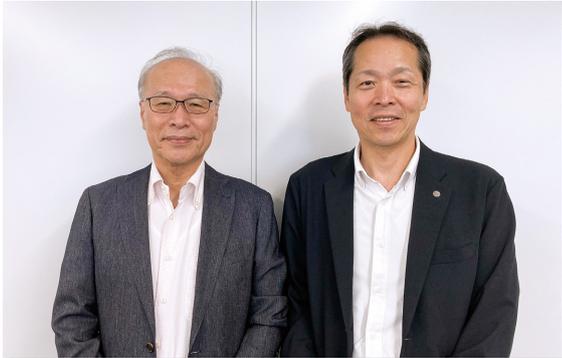
左から、日本医療ソーシャルワーカー協会 野口百香会長、本会上田克彦会長、山崎まどか事務局長 (8月4日(金))



日本歯科技工士会 森野隆会長と本会上田克彦会長 (8月7日(月))

また上田会長のチーム医療推進協議会代表理事就任と堀住新事務局長就任に関する各団体訪問の一環として、8月23日(水)には公益社団法人日本栄養士会を訪問し、中村丁次会長と会談、8月28日(月)には公益社団法人日本視能訓練士協会 南雲幹会長と丸林彩子副会長、公益社団法人日本看護協会 高橋弘枝会長を訪問し、本会から持参した資料に沿ってJART Vision 2040や性腺防護の廃止に向けた話をさせていただきました。どちらの会長にも大変興味を持っていただけました。今後の会長にも大変興味を持っていただけました。

今後も幅広く関連団体との会談を重ねてまいります。



日本栄養士会 中村丁次会長と本会上田克彦会長 (8月23日(水))



左から、日本視能訓練士協会 南雲幹会長、本会上田克彦会長、丸林彩子副会長 (8月28日(月))

## 本会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床工学技士会、 共同で日本医療法人協会と日本病院会を訪問する!

2023年8月23日(水)、本会江藤副会長、江端業務執行理事と一般社団法人日本臨床衛生検査技師会、公益社団法人日本臨床工学技士会の各団体役員で、一般社団法人日本医療法人協会事務局に加納繁照会長を訪問させていただきました。

告示研修に関する地域医療介護総合確保基金(区分Ⅵ)の申請に関して、多くの会員病院を抱える日本医療法人協会さまに、周知を含めてご協力をお願いしてきました。また8月25日(金)には一般社団法人日本病院会の相澤孝夫会長も訪問させていただき、告示研修に地域医療介護総合確保基金の

申請がスムーズに進められるよう、参加施設への文書の発出・広報を依頼してまいりました。

日本診療放射線技師会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床工学技士会の三団体が基金活用について共同歩調を取るのには初ではありますが、三団体が共同することで四病協(四病院団体協議会)各団体には大変力強い依頼になったと感じました。

今後も他団体との対話と協調を進めてまいります。



日本医療法人協会訪問 (8月23日(水))



日本病院会訪問 (8月25日(金))

## 論文を投稿される皆さまへ大切なお知らせ

投稿要領・投稿時の注意点の改訂および  
テクニカルチェックリストの運用開始について

2020年11月より論文投稿システムを電子化してから、著しく投稿数が増加しています。会員の皆さまの研究成果を示す場として、有効に活用いただいているのではないかと考えます。一方で、投稿論文の質の担保や、査読者の負担を考慮することも重要です。

そこで編集委員会では、論文投稿に関するルールの見直しを行いました。論文投稿を検討されている皆さまには、これらを確認してからご投稿いただくようお願い申し上げます。

## ①投稿要領を改訂しました

特に、本文および図・表の表記方法を具体的に示しました。投稿規程と併せて必ず順守してください。

## ②投稿時の注意点を大幅に変更しました

具体的な論文作成における考え方や書き方の一例も掲載しています。論文執筆時には必ず目を通してください。

## ③テクニカルチェックリストの運用を開始しました

論文投稿システムのログイン画面からダウンロードが可能です。作成した論文が各項目を満たしているか、著者および共著者で確認してください。テクニカルチェックリストは、論文投稿時に論文投稿システムへのアップロードが必須となります。

2023年度 放射線治療分科会主催  
生涯教育セミナー（治療計画・乳房編）  
茨城県 開催報告

放射線治療分科会 委員  
伊藤 憲一（栃木県立がんセンター）

2023年7月29日（土）、つくば国際会議場（茨城県つくば市）で、「治療計画・乳房編」をテーマに生涯教育セミナーを茨城県診療放射線技師会と共催しました。酷暑の中、全国の21施設から45人の参加者で開催されました。

本セミナーは、乳がん術後放射線療法において、より良い治療計画を行うためには、何に注意して体位や固定方法を決定しなければならないかを理解する実践的な講習会としました。

筑波大学医学医療系放射線腫瘍科 沼尻晴子先生を講師にお招きし、診療放射線技師に理解してほしい乳がんの知識について、疫学・腫瘍学から治療に至るまでの診療放射線技師が必要とする知識についてご講演いただきました。続いて放射線治療分科会委員から、ポジショニングが及ぼすセットアップ精度の影響について、固定具の選択や事前説明などの重要性について講義が行われました。治療計画装置を使用した計画実習では、治療計画で確認すべきポイントについて臨床例を用いて詳細に提示されました。さらに事前アンケート



フリーディスカッションの様子

結果を基に、各施設の取り組みをテーマとしたグループディスカッションを行いました。グループディスカッションでは、他施設の状況や運用方法などの情報について共有し、活発な議論となっていました。

本セミナーにご参加いただいた皆さま、広報および会場設営などにご協力いただいた茨城県診療放射線技師会の皆さま、治療計画装置の実習でご協力いただいた株式会社バリアンメディカルシステムズ担当者の皆さま、本セミナー開催にご尽力いただいた当会の関係各位に、心からお礼を申し上げます。

# 第8回 FRT九州研修会 開催報告 (Friendly Radiological Technologist九州)

FRT九州 代表 中島 佳子

2023年7月1日(土)、沖縄産業支援センターで第8回FRT九州研修会を開催致しました。沖縄県での現地開催ではありませんでしたが、52人の方々にご参加いただき、とても盛り上がりました。

教育講演では、公益社団法人日本診療放射線技師会の児玉直樹副会長に、「研究倫理について」と題してご講演いただきました。難しい内容ではありませんでしたが、講演後もたくさんの質問が飛び交い、とても有意義な教育講演で、あっという間の1時間でした。

シンポジウムでは、「みんなで学ぼう！スキンテア（皮膚裂傷）防止と患者の対応」というテーマで、それぞれの職業の立場から3人の先生方にご講演いただきました。初めに、看護師の立場からということで、友愛医療センターの大嶺知栄子先生にご講演いただきました。次に、理学療法士の立場から、沖縄県立八重山病院の久場兼祥先生にご講演いただきました。車イスへ移乗する際の介助方法、患者さまへの介助がどこまで必要かを見分ける方法など、とても役に立つ情報をご講演いただきました。最後に、診療放射線技師の立場から、沖縄県立南部医療センターの新城雅先生にご講演いただきました。事前アンケートや実際の体験談から、スキンテアについて防止策と



対応方法をご講演いただき、とても興味深い内容でした。

リフレッシュタイムでは、ホットヨガLAVAの講師の先生にお越しいただき、座ってできるヨガを教えてくださいました。FRT九州研修会らしい、笑顔いっぱい光景で、みんなでリフレッシュすることができました。

特別講演では、「ボランティア活動報告～ジャパンハートこども医療センター in カンボジア～」と題して、沖縄県立宮古病院の嶺井一美先生にご講演いただきました。2カ月間仕事を休み、ボランティアとしてカンボジアの病院で活動された経験を、写真も交えて講演いただきました。カンボジアの過酷な環境、医療機器・医療設備の整っていない状況、何でも再利用しなければいけない状況、もう廃棄するようなイメージングプレートの汚れを消しゴムでこすることでアーチファクトを消し去り、とても大事に使用していることなど、全てが驚きでした。嶺井先生が最後におっしゃった、「今できること、今すべきことに目を向ける、できることを増やしていくことが大事」という言葉に感銘しました。とてもモチベーションの上がる素晴らしい特別講演でした。

本研修会開催に当たり、ご尽力いただきました九州地域放射線技師会役員の皆様、一般社団法人沖縄県放射線技師会の皆様、そしてご参加いただきました全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。



## 2023年度レントゲン週間イベント(市民向けイベント)の紹介

INFORMATION

本年度の全会共催／後援のレントゲン週間イベント（市民向けイベント）が以下の通り開催されます（すでに終了したイベントも含む）。詳細は、各道府県（診療）放射線技師会にお尋ねください。

地域	技師会名	申請内容	開催日	開催市	会場	イベント名
北海道	北海道放射線技師会	共催	10月 1日(日)	釧路市	釧路市観光国際交流センター	くしろ健康まつり2023
東北	秋田県診療放射線技師会	共催	11月11日(土)	秋田市	JR秋田駅まほろーど・秋田拠点センターALVE	医療放射線画像展2023・市民公開講座
東北	岩手県診療放射線技師会	共催	11月 1日(水)～ 30日(木)	Web配信	Web配信	市民公開講演会
東北	福島県診療放射線技師会	共催	10月22日(日)	郡山市	ポラリス保健看護学院 メグレスホール	令和5年度(公社)福島県診療放射線技師学術大会
北関東	茨城県診療放射線技師会	共催	9月23日(土・祝) 10月21日(土)	水戸市 つくば市	イオンモール水戸内原 イースつくば	放射線展 ピンクリボン活動
北関東	群馬県診療放射線技師会	共催	10月 7日(土)・ 8日(日)	前橋市	ALSOKぐんま総合スポーツセンター ふれあいグラウンド	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023ぐんま
南関東	神奈川県放射線技師会	共催	11月12日(日)	横浜市	新都市プラザ9F ホール	健康チャレンジ神奈川2023
近畿	大阪府診療放射線技師会	共催	10月21日(土)	大阪市	大阪国際交流センター 2F 小ホール	令和5年度府民公開講座
近畿	滋賀県診療放射線技師会	共催	10月29日(日)	大津市	明日都浜大津	2023おおつ健康フェスティバル
近畿	京都府診療放射線技師会	共催	11月 3日(金・祝)	京都市	京都府立植物園	府民交流フェスタ

# 南関東FRT第8回研修会 開催報告(Web開催)

公益社団法人日本診療放射線技師会／公益社団法人東京都診療放射線技師会／公益社団法人神奈川県放射線技師会／  
一般社団法人千葉県診療放射線技師会／一般社団法人山梨県診療放射線技師会／一般社団法人長野県診療放射線技師会

(本会の名称は「**Future Radiological Technologist**」とし、変わりゆく時代の中で明るい未来に向けて  
羽ばたき続ける会として活動していきます)

一般社団法人長野県診療放射線技師会 竹内 有希

開催日時：2023年8月19日(土) 午後2時～午後4時40分

開催方法：Web開催

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

参加者：100人

修了後の受講者の皆さまのアンケート回答を基に報告致します。今回は20代から60代まで幅広い年齢層の参加者がありました。また受講しやすい時間帯であることや、Webで参加できるため遠方から受講できるとご好評を頂きました。内容は、ノンテクニカルスキル研修と、医師と診療放射線技師のそれぞれの立場から、STAT画像報告についてお話しいただきました。

## 講演①「多様な社会におけるキャリアパスと自己分析」

拓殖大学商学部 教授 長尾 素子 先生



多様性の意味は「ここには、いろいろな人がいるから多様性」ではなく、「ここには、いろいろな考え方があり、いろいろな生かし方がある」と理解することが大切と学習しました。

「キャリアパス」は自身の目標達成までの道のりのことと、前回のおさらいをしました。

「自己分析」の方法の一つとして、ライフラインチャートをご紹介いただきました。自身の気持ちや思考を、実際に文章やグラフにしてみるの少し面倒くさくて難しいけれど、分かりやすく面白いものと思います。

これらを踏まえて、未来に視点を向ける機会となりました。

## 講演②「STAT事例の読影と今後の展望」

非営利活動法人エキスパートイメージングアンドインターベンショナルサポート 理事長 中島 康雄 先生



つつがなく迅速に臨床現場に報告するために、私たちはどこを読むとよいのか、症例を見ながら「killer disease」「異所性air」「網羅的」の3つの重要点を学習しました。また技師に期待することとして、職種間のヒエラルキーを超えて「医師と診療放射線技師とが率直に意見交換できる環境・雰囲気」ができれば、他部門にも浸透し、医療の質が高まり、また医師の負担軽減にもつながるとお話しされていました。

## 講演③「診療放射線技師による緊急異常所見発見の取組み」

公立大学法人横浜市立大学附属病院 放射線部担当係長 坂野 智一 先生



検査データのパニック値のような概念でパニック画像を設定すること、資料作りに力を入れ過ぎるとテキストになってしまうので、ミーティング時やコミュニケーションの中で見直して学習することやそれを持続すること、グッドキャッチという捉え方の有効性など、工夫ある取り組みで報告しやすい体制を構築されたことを紹介していただきました。個々の技師の裁量が大きくなり、部署全体の向上につながっている印象を受けました。

# 告示研修 開催報告

## 富山県

公益社団法人富山県診療放射線技師会 副会長 伊藤 貞則

2023年8月5日(土)・6日(日)、令和5年度として第1回・第2回の告示研修(令和3年厚生労働省告示第273号研修)を開催しました。新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザなどと同様の5類感染症に位置付けられたことにより、開催中止のリスクも少なくなり、受講者も安心して参加できたのではないかと思います。今回、初の試みとして開催場所を高岡・砺波地区(富山県では呉西地区<sup>ごせい</sup>という)にしました。そのため呉西地区の受講者が半数以上を占めることになり、受講率向上にもつながったのではないかと考えております。また初の試みは実技実習においても実現しました。それは、医師・看護師の講師は招集せず、全て診療放射線技師の講師(ファシリテーター)のみで対応したことです。診療放射線技師の講師・スタッフ各位が一致団結したことで、無

事に開催・終了することができました。

前日の準備から事後処理まで、ファシリテーター・スタッフ各位には院内業務が忙しい中、万全の準備でご対応いただきましたことに深く感謝申し上げます。開催責任者を担当した立場で感じたことは、ファシリテーターの追加養成が必須であることです。富山県の会員数の規模では、少なくともあと5人程度のファシリテーターは必要と感じます。特定の方の負担にならないような仕組みを構築することで、本研修会を継続して開催することができるのではないかと感じました。

最後に、開催にご協力いただきましたJART関係者、富山県診療放射線技師会理事各位の皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。



動画視聴の風景



動脈路確保の実習風景



集合写真(ファシリテーター・スタッフ)

## 岐阜県

公益社団法人岐阜県診療放射線技師会 会長 加藤 秀記

2023年8月19日(土)・20日(日)、岐阜医療科学大学において、本会として本年度第1回・2回の「令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修」を開催致しました。両日合わせて94人の申し込みを頂きましたが、新型コロナウイルス感染症の流行第9波の影響により研修修了者は90人でした。

医師への負担軽減のため医師派遣について変更されたことに伴い、今回から新たな取り組みとして、これまで放射線科医師に依頼していた講師(監督)を診療放射線技師から選任して開催致しました。本会としての開催は、昨年からの通算で7回

目・8回目となり、回数を重ねたことで、前日の会場準備や片付けも含め研修をスムーズに進めることができました。

2022年度末での全国の実技研修修了者は11,834人(20.8%)と着実に増加していますが、今後も継続して開催に取り組んでいく必要性を感じています。併せて受講率向上に向けた広報活動も進めてまいります。

最後に、この場をお借りして、講師の先生方をはじめ、会場を提供していただいた岐阜医療科学大学の皆さまのご協力に、感謝申し上げます。



## 岩手県

一般社団法人岩手県診療放射線技師会 教育委員 佐々木 忠司

2023年8月20日(日)、岩手県としては4回目の告示研修(実技)を開催致しました。新型コロナウイルス感染症への法令対応が緩和されましたが、市中感染が緩やかに増えている状況のコロナ禍であり、午前中のビデオ視聴を行う講義室と午後の実技を行う場所を確保する観点から、盛岡赤十字病院の施設を使用させていただきました。当日は欠席者もなく47人が受講されました。

ファシリテーターとスタッフに日本診療放射線技師会枠と県技師会枠を設け、本県ではスタッフ負担軽減のため、スタッフ1人とファシリテーター1人を増員して開催しています。そのため午前中のビデオ視聴を行った講義室を数十分で実習室に変更でき、運営が滞ることがなくなりました。このように実習室の確保が難しい場合は、スタッフなどの増員が可能になれば、開催側も運営がスムーズになるのではないでしょう

か。実技講習時はファシリテーターも慣れてきており、積極的に指導に当たることができてスケジュール通りに進むようになりました。しかしながら、終了後の物品の片付けは、相変わらず借用施設の職員の手を借りて行わなければならない状況が続いています。

岩手県の告示研修(実技)の受講者の中には、車で片道2時間半の時間を要して遠方から参加される方もいます。冬季を避けて受講できるよう降雪がない時期を2回、冬季を1回としています。受講申請に余裕を持って申し込めるように、本会の会報やホームページに先行して開催情報を掲載し、早めの広報を心掛けております。

告示研修開催に当たり、ファシリテーター・開催スタッフの皆さま、またJART事務局のご指導・ご対応に、この場をお借りして感謝申し上げます。



## 三重県

一般社団法人三重県診療放射線技師会 副会長 山田 剛

2023年8月26日(土)・27日(日)、鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパスで、三重県診療放射線技師会としては通算9回目・10回目となる告示研修(実技)を開催致しました。今回の2日間の告示研修参加者の内訳は8割ほどの方が三重県診療放射線技師会の会員、同じく8割ほどの方がJART会員という状況でした。本研修は、2023年度の三重県開催としては3回目・4回目になりますが、前述したように県開催として2桁目の開催を迎えたということもあり、会場の設営準備から受講者の誘導、さらには講義の進め方など、全てにおいて手慣れたファシリテーターとスタッフの方々の素晴らしいチームワークにより、本研修会も何の問題もなく終了することができました。また朝から夕方まで内容の詰まった研修になりま

したが、受講者の皆さまが真剣に取り組んでいることに加え、特に、実習においては心地よく受講されていることを開催責任者として随所に感じることができ、大変うれしく思いました。

最後になりましたが、三重県診療放射線技師会では告示研修をはじめ、業務拡大に伴う統一講習会、フレッシューズセミナーなど、JART関連事業は全て鈴鹿医療科学大学を会場として開催しております。鈴鹿医療科学大学の先生方には、会場手配をはじめ多岐にわたりお世話になっております。今回も残暑厳しい中でありながら快適な環境下で研修を開催できたことを、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。



## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー 開催報告

### 沖縄県

一般社団法人沖縄県放射線技師会 学術部常務理事 島袋 真

沖縄県放射線技師会は2023年8月20日(日)午前8時50分から午後4時まで、社会医療法人友愛会 友愛医療センターの7階会議室をお借りして、6人の講師のご協力の下、医療安全や医療コミュニケーション、感染対策などの内容でフレッシューズセミナーを開催しました。

11人の参加者を前に、講師陣も久しぶりの対面形式での開催ということで、Web開催時とは違う緊張感でした。

昨年、自己紹介の時間を設けられなかったことの反省を踏まえ、私たち講師同様、横のつながりを構築していただくために、今回はフレッシューズの皆さまにも自己紹介の場を用意できたことで、同期入職の仲間構築に寄与できたのなら幸いです。

沖縄県放射線技師会では、毎年、フレッシューズセミナー開催時のプログラムの一環として、各認定研究会代表世話人



の方々に約5分ずつの研究会紹介の場を設けており(沖縄県放射線技師会の認定研究会は、現在、8研究会で運営されています)、これを機会に、学術も含めた興味向上につながる場として貢献したいと考えております。

最後になりますが、例年、フレッシューズセミナーは春ごろに開催しておりましたが、各施設で業務に携わる機会が増えたフレッシューズの皆さまが、知識や経験が増えた夏場に会を開催することがベストと考え、今回、初の夏季開催としたことで私たち講師も手応えを感じており、機会があれば来年度も夏季での開催をと考えております。

## 業務拡大に伴う統一講習会 開催報告

### 東京都

公益社団法人東京都診療放射線技師会 副会長 野口 幸作

(JART教育委員)

“久々の統一講習会だ〜!”という思いで、3年ぶりの「業務拡大に伴う統一講習会」を、2023年3月4日(土)・5日(日)に駒澤大学駒沢キャンパスをお借りして開催しました。東京都としては、2015年度から2019年度までの5年間、31回開催と1,259人の受講者に対応してきました。実は、32回目を2020年2月29日・3月1日に開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の関係で開催中止に追い込まれた経緯があります。

東京都としては、ここ数年、各所からの要望が多い告示研修に注力してきました。しかし、いくつかの施設からは、“統一講習会を開催しないの?”との問い合わせを頂いており、大きな需要ではないが、必要性を感じていました。私を含め5人いる実習指導者のうち4人が告示研修のファシリテーターを兼務しており、年間12回開催している告示研修の合間に挿入するのは至難の業でした。しかし、そこは5年間培った協力体制があり、無事開催へとこぎ着けました。募集50人に対して27人の申し込みがあり、実際は25人が参加して、1日半のビデオ講習、半日の実技研修と充実した講習会でありました。実際にやって思ったことですが、法令に関しては、現



法令の前の平成26(2014)年6月の法令改正の話なので、受講者には、この後に令和3(2021)年の改正があるので、頭の中で順番の整理をお願いしました。また一次救命処置(BLS)が大事であると再認識しました。やはり私たち診療放射線技師は、じかに患者と接しており、目の前で意識消失が起こった場合、現場の私たちが正しい知識と技術を持って患者に初期対応ができることで、患者の安心につながるのではないかと考えます。

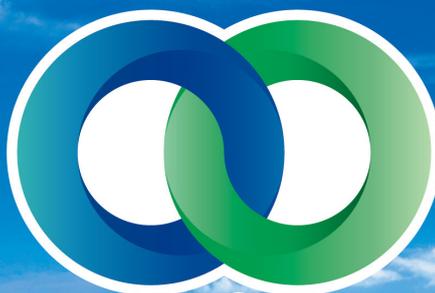
久々の実技実習であったため、最初は多少の戸惑いもありましたが、徐々に昔の感覚を取り戻し、スムーズに進めることができました。最後に、実習指導者には多大なご協力を頂いているので、この場を借りてお礼を言いたいと思います。ありがとうございます。これからもご協力をお願い致します(写真は、以前行われた講習会の実習風景です)。

JCRTM2024

# 第1回 日本放射線 医療技術学術大会

第40回日本診療放射線技師学術大会  
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

会場 沖縄 コンベンションセンター  
会期 2024年 10月31日(木) ~ 11月3日(日)



ゆいまーる

診療放射線技術の共創  
All Japan  
Radiological Technology



JART

■ 大会長：上田 克彦  
■ 実行委員長：富田 博信



JSRT

■ 大会長：白石 順二  
■ 実行委員長：奥田 保男

【お問い合わせ先】 第1回 日本放射線医療技術学術大会運営事務局

所在地：株式会社リンクージ沖縄内 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 2-8-8-2F

TEL：050-3666-2460 / FAX：098-890-1921 / E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp

HP：https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024



# 「アーバンフォックス」問題



前回 (2021年11月号・No.551)、五感の原稿を書かせていただいた時は、私の勤務する病院裏にヒグマが出没したことを書きました。ヒグマは朱鞠内湖で釣り人を襲うなど今年も活発に活動しており、われわれを恐怖に陥れていますが、幸いなことに私の近辺には姿を現しておりません。街中に出没する困った熊のことを「アーバンベア」と呼ぶそうです。

今回はキツネの話となります。北海道のキツネはキタキツネですが、ドラマ『北の国から』で「ルールルル」と蛍が森に向かってキツネを呼んでいたシーンが思い出されるでしょうし(古くて、最近の人は知らないか?)、北海道に旅行に来た方が道端でキタキツネを見つけて写真を撮っているなど、可愛い動物という印象があるかと思います。ただし北海道では、キタキツネはエキノコックスという寄生虫を媒介する厄介な存在として接触を避けられている存在です。私の住んでいる家のそばでも、昔からキツネはちょくちょく見掛けていました。しかし、

ここ最近はどういうわけか、家の庭にまで出没するようになりました。それだけならまだ我慢できたのですが、今年になってからは、愛犬と散歩をしていると5メートルくらい近くまで寄って来て、犬に向かって吠えて威嚇してくるようになりました。皆さんはキツネの鳴き声は「コンコン」だと思われているかもしれませんが、実際は犬の鳴き声「ワンワン」をエキセントリックにしたような、文字にすると「ヴァンヴァン」というような鳴き声で、かなり脅し的な迫力があります。このキツネの威嚇にわが愛犬はすっかり怯えてしまい、最近では散歩に行くのを嫌がるようになってしまいました。これが私の「アーバンフォックス」問題です。保健所に相談しても、キタキツネは「鳥獣保護管理法」により保護される動物だということで全く相手にしてくれません。どなたか、対処法をご存じの方は、私にご教示ください。お願いします。

(文責：大野 肇)

## 10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線取扱主任者定期講習： 東京 2023年10月20日(金)
- 消化管造影セミナー： Web開催 2023年10月24日(火)
- 画像等手術支援認定講習会： Web開催 2023年11月5日(日)
- 超音波実技講習会「腹部領域」： 東京 2023年11月11日(土)・12日(日)
- 画像等手術支援分科会ハンズオンスキルアップセミナー(中級～上級)： 東京 2023年11月12日(日)
- 下部消化管(注腸)認定診療放射線技師認定講習会・試験： 東京 2023年11月25日(土)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修(実技研修)/業務拡大に伴う統一講習会/診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)： 本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

### [e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- 告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集 ・ラダーレベル3 2023年7月10日(月)午前0時から12月15日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け ※各認定資格試験終了日(2024年1月)まで何度でも視聴いただけます。
- 医療安全管理者養成研修 2023年10月15日(日)午前0時から11月7日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け インターネット配信研修期間：2023年11月15日(水)午前10時から2024年1月15日(月)午後1時まで 集合研修開催日：2024年1月28日(日)(オンライン演習)
- 認定資格失効者講習会(在宅)
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修(在宅) 2023年12月22日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- オンラインセミナー(在宅)：本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。